

新穂高ロープウェイ

SHINHOTAKA ROPEWAY

安全報告書
2023



奥飛観光開発株式会社

1. 利用者の皆様へ

平素は新穂高ロープウェイをご利用いただき、誠にありがとうございます。

当社では、2019年に「新穂高ロープウェイリニューアル基本計画」を策定し、新穂高ロープウェイを世界水準の山岳リゾートとして順次整備していくこととしております。

その皮切りとして、2022年10月西穂高口駅に隣接するエリア（旧千石園地）に、展望デッキなどを新設し、エリア一帯の名称も「頂の森」と改称し、リニューアルオープンしました。（第Ⅰ期工）

今後、第Ⅱ期分の整備を進めるとともに、西穂高口駅舎の内部もリニューアルしていく予定です。

世界水準の山岳リゾートを目指すうえで必要不可欠なのは、安全の確保です。

今後も安全管理体制を強化し、多くの皆様に安心・快適にご利用いただき、北アルプスの大自然を全身で感じながら充実した時間を過ごすことができるよう、ハード・ソフト両面を磨き上げて参ります。

本報告書は、鉄道事業法に基づき、2022年度の安全輸送の取り組みを広く皆様にご理解いただくために作成いたしました。

皆様からの声を更なる安全性の向上に役立てたく、忌憚のないご意見やご感想をいただければ幸いです。

奥飛観光開発株式会社

代表取締役社長 宮川 学

2. 安全に関する基本的な方針

（1）行動規範

社長、役員及び社員は、次に掲げる安全に係る行動規範を理解し、輸送の安全確保を最優先に、お客様と地域から愛される「信頼のトップブランド」を目指します。

【行動規範】

- (1) 一致協力して輸送の安全の確保に努めること。
- (2) 輸送の安全に関する法令及び関連する規程等をよく理解するとともにこれを遵守し、厳正、忠実に職務を遂行すること。
- (3) 常に輸送の安全に関する状況を理解するよう努めること。
- (4) 職務の実施に当たり、推測に頼らず確認の励行に努め、疑義のあるときは最も安全と思われる取り扱いをすること。
- (5) 事故・災害等が発生したときは、人命救助を最優先に行動し、すみやかに安全適切な処置をとること。
- (6) 情報は漏れなく迅速、正確に伝え、透明性を確保すること。

(7) 常に問題意識を持ち、必要な変革に果敢に挑戦すること。

(2) 安全方針と重点施策

当社では、安全管理委員会において、安全方針・安全重点施策を策定し、安全第一の意識をもって事業活動を行える体制の整備に努めるとともに、輸送の安全を確保するために「安全方針」を掲げ、全社員に周知・徹底に取り組んでおります。

【安全方針】

法令遵守と安全最優先
安全マネジメント体制の推進

【安全重点施策】 2022年度の安全重点施策は、以下の3項目でした。

2022年度 安全重点施策

- 1 新型コロナウイルス感染防止対策の周知と対策実施の徹底
- 2 「安全最優先」とした安全が与える安心の提供
- 3 情報を迅速・正確に展開し安全性の向上を図る

(3) 安全重点施策の実施結果

- 1 新型コロナウイルス感染防止対策の周知と対策実施の徹底
駅舎、搬器内の定期的なアルコール消毒に加え、館内放送と声かけ等でお客様に感染防止対策の周知をしました。出札でのマスク販売も実施しました。
マスク着用の考え方の見直し等で3月13日より任意による着用となりましたが、従業員は着用を継続し感染防止に努めています。
- 2 「安全最優先」とした安全が与える安心の提供
安全確認の基本動作（指差称呼）を徹底し安全の見える化により安心を提供しました。定期的な整備工事による部品交換を実施と安全最優先として整備工事の必要性を考慮し安心して乗車ができるように段取りを行いました。
- 3 情報を迅速・正確に展開し安全性の向上を図る
推測に頼らず確実な確認と安全性の向上を図りました。不具合報告、気象報告、危険個所の情報共有を速やかに行い対応しました。

(4) 2023 年度 安全方針及び安全重点施策の策定

【安全方針】

法令遵守と安全最優先
安全マネジメント体制の推進

安全方針は安全の根幹となる方針であり、変更すべき情勢の変化も認められないため、2022年度も同じ安全方針を策定しました。

【安全重点施策】

2023 年度 安全重点施策

- 1 安全に関する法令および規程類を遵守し厳正忠実に業務を遂行する。
- 2 安全基本動作および相互間注意を徹底し、ヒューマンエラーを撲滅する。
- 3 指示・連絡・報告を徹底すると共に情報を共有し安全性の向上を目指す。

以上 3 点、安全重点施策を策定しました。

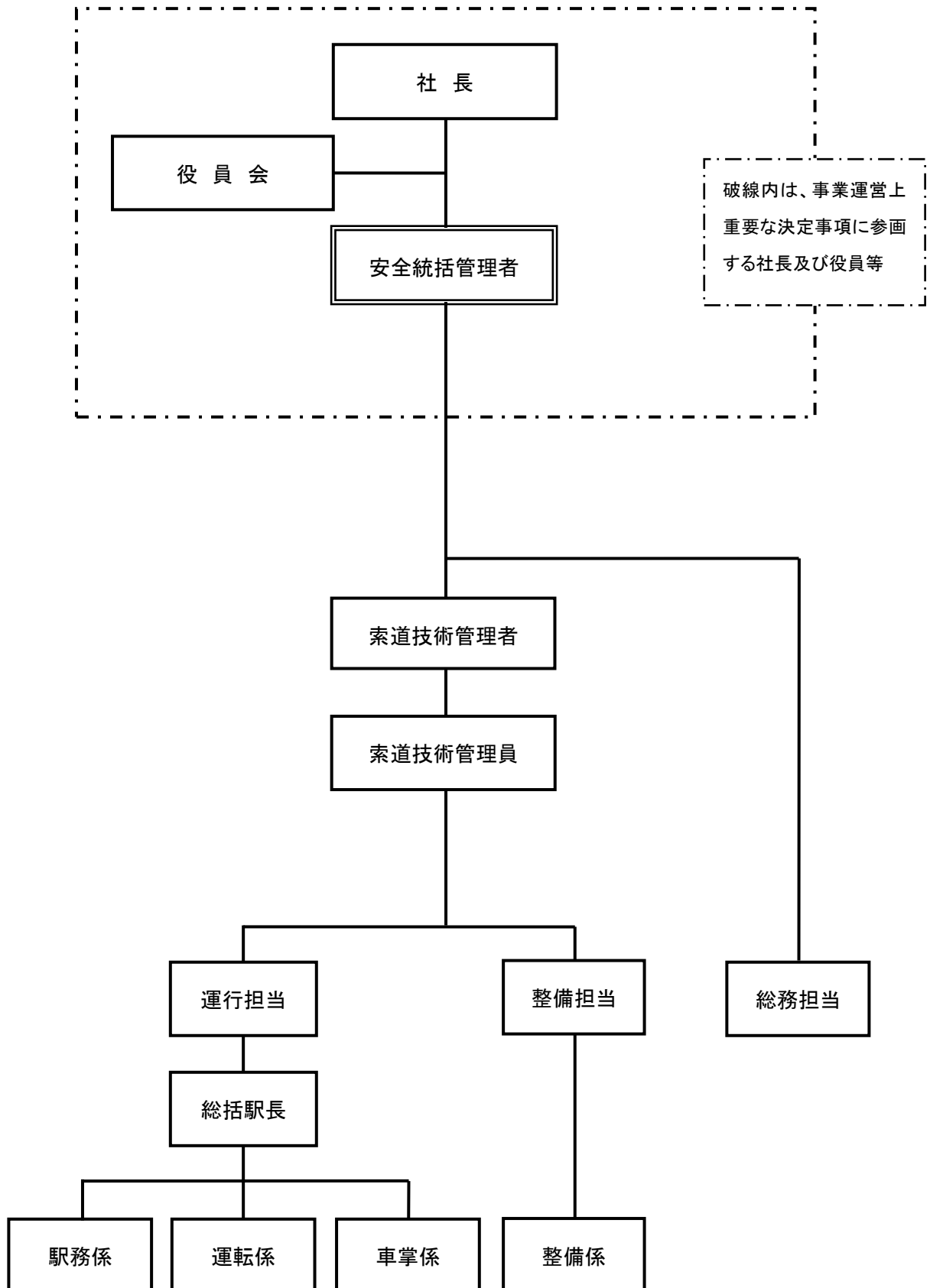
3. 当社の安全管理体制

(1) 安全管理体制の確立

当社では、社長をトップとする安全管理体制を構築し、各責任者の役割及び権限を社内規程等によりその責務を明確にしています。

安全管理委員会において、より一層の運行の安全確保に努めるため、安全方針に掲げる安全マネジメント体制の維持・向上を図る施策を推進するとともに、安全運行に係る事項の情報共有、原因究明・対策の検討を実施しております。

安全管理体制図



(2) ヒヤリハット報告

当社では、各部署からのヒヤリハット報告を集約し、安全のための対策を策定しております。2022年度は106件の報告がありました。これら得られた情報を、PDCAサイクルに繋げていくことにより、さらなる安全活動の活性化に取り組みました。

(3) ヒヤリハット報告による改善事例

第1ロープウェイ搬器乗降時に搬器とホームとの段差があるため躓き、転倒防止対策として注意喚起を含め、分かりやすいよう蛍光テープにて目印貼り付けをしました。



オレンジ色のテープを貼り、お客様の目に留まるようにしました。それに加え、声かけによる注意喚起も継続して実施しました。

4. 2022 年度 事故等の発生状況

(1) 索道運転事故

2022 年度、索道運転事故の発生はありませんでした。

(2) インシデント（事故の兆候）

2022 年度、該当するインシデント事項はありませんでした。

5. 安全確保のための取組み

(1) 人材教育・育成

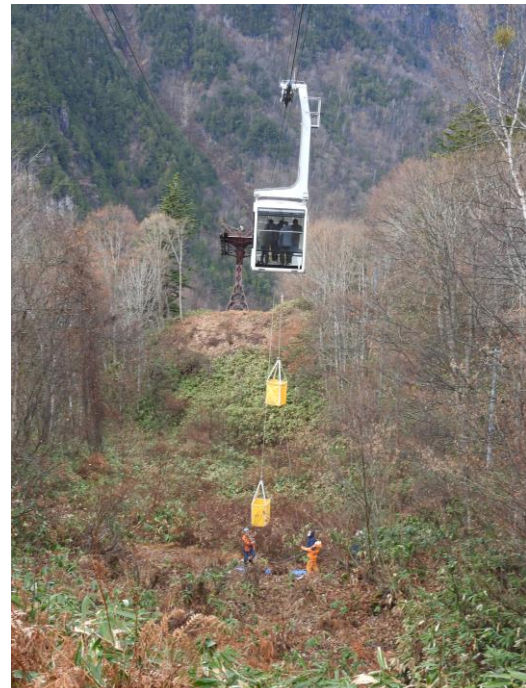
安全運行講習（6 月）を実施し、安全確認の基本動作の徹底を指導しました。

(2) 緊急時対応訓練

運行途中での運行不能になった事態を想定し、11 月 29 日に救助訓練を実施しました。
又、予備原動機による連結及び運転も実施しました。

【11 月 29 日 第 1 区線・第 2 区線】

第 1 区線

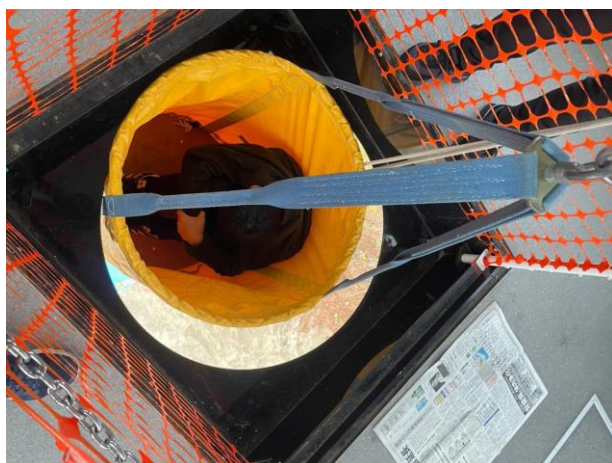


第2区線



救助袋の降下様子

2つの救助袋を使用し交互に地上へ降下させる。



救助袋内の様子

実際に乗り込み地上まで降下し訓練を実施した。

(3) 安全のための投資と支出

2022年度では、第1区線の曳索平衡索交換工事に併せ各滑車の整備工事も実施しました。そのほかに、定期的な第1区線、第2区線の制御装置点検を実施、必要な部品等の購入を含め、約2400万円の投資を行いました。今後も更なる安全・保安対策を計画的に実施し、安全性の向上を推進します。また、2023年度実施予定の第2区線3号車側支索交換工事を計画し、2024年度には4号車側支索交換工事を予定しております。

6. ご連絡先

【 本 社 】

〒 506-0053
岐阜県高山市昭和町 1 丁目 165-1

奥飛観光開発株式会社

T E L : 0577-33-0517
F A X : 0577-34-7101
ホームページ : <http://www.okuhi.jp/>

【 事業所 】

〒 506-1421
岐阜県高山市奥飛驒温泉郷
神坂字巾平 710 番地 79

新穂高ロープウェイ

T E L : 0578-89-2252
F A X : 0578-89-2815

※ メールをご利用される方は、ホームページ内の「総合ご案内」よりお寄せ下さい。

2023 年 9 月 発行